



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町5-23
西宮YMCA内
☎(0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2012年9月会報 第288号

主 題 ・ 標 語

- 国際会長 (I P) Philip Mathai (インド)
 主題: "Be the light of the world" 「世を照らす光となろう」
 標語: "Share your blessings in love" 「恵みを愛もて分かち合おう」
- アジア地域会長 (AP) Oliver wu (台湾)
 主題: "Years bring wisdom" 「歳月はY'sをワイズ(賢者)にする」
 標語: "Action vitalize life with strength" 「行動が活力を呼び覚ます」
- 西日本区理事 (RD) 成瀬 晃三 (名古屋)
 主題: 「先頭に立ってワイズの光を輝かそうクラブで、地域で、国際社会で」
 "Let Y'smes Light Shine before Others
 In the club, in the community, in the world"
 標語: 「ワイズメンの満足度向上を真摯に取り組もう」
 "Devote Yourself to Y'sdom and Get More Satisfaction!"
- 六甲部長 上野 恭男 (芦屋)
 主題: 「柔軟な創造で愚直に積極的なワイズライフを楽しもう」
- 宝塚クラブ会長 長尾 亘
 主題: 「原点に帰って、楽しい例会」
 "Buck to the Origin!! Joyful Meeting."

今月のテーマ: メネット

今月の聖書: 自分の持ち物を売り払って施しなさい。すり切れることのない財布を作り、尽きることのない富を天に積みなさい。そこは、盗人も近寄らず、虫も食い荒らさない。

(ルカによる福音書12:33)

2012年9月第1例会

日 時: 2012年9月12日(水) 18:30
 場 所: 宝塚ホテル ゴールドの間
 会 費: 会員3,000円、会員外3,500円
 ドライバー 堀江 裕一

開会点鐘 樋之内 悟
 ワイズソング 長尾 亘会長
 聖 書 全 員
 祈 禱 小島規似郎
 ゲスト・ビジター紹介 水谷 恭子
 ゲストスピーカー 長尾 亘会長
 理学療法士
 日向亭 葵 (ひなたてい あおい)
 「笑い与健康」

会 食
 誕生日のお祝い
 規則改正の審議 長尾 亘会長
 会長報告 長尾 亘会長
 YMCA 報告 谷川 尚連絡主事
 閉会点鐘 長尾 亘会長

2012/13 役員	会 長 長尾 亘 直前会長 山崎泰男 副会長 多胡葉子 書 記 若林成幸 会 計 吉田 明 会計監査 今田 稔 メネット連絡 福田素子 連絡主事 谷川 尚 六甲部地域奉仕環境事業主査 山崎泰男 西日本区交流事業主任 石田由美子
事 業 委員長	YMCAサービス・ユース 多胡 葉子 地域奉仕・環境 山崎泰男、EMC 福田宏子 交 流 石田由美子 ファンド 堀江裕一 広 報(ブリテン) 長尾 亘、(HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 三品ミチ子 じゃがいも 福田 肇 バザー 山崎泰男 市民クリスマス 若林成幸
お誕生日 おめでとう!	石田由美子(9月1日) 三品ミチ子(9月2日) 今西 時子(9月9日) 樋之内登志(9月17日) 加藤富美子(9月23日) 福田 宏子(9月23日)
8 月 実 績	在籍会員数 25名 例会出席者数 33名 うち会員数 13名 出席率 52.0% メイクアップ(内数) 0名 メネット 5名 コメント・マゴメット0名、ゲスト・ビジター15名
	BFポイント 8月 4,200円 累 計 10,400円 にこにこBOX 8月 3,000円 累 計 5,000円 物品販売累計 5,300円

2012年8月第1例会

8月第一例会は、8月8日(水)、18時から宝塚ホテル・ゴールドの間で納涼特別例会として開催された。出席者はメン13名、メネット5名、ゲスト15名、計33名。今回の例会は、後半に豪華な会食があるので参加者が多い。さんだクラブ、神戸ポートクラブ、千葉クラブからも参加があり、さらに友人、知人も加わり、宝塚の会員よりもゲストの方が多い、というまことに嬉しい(?)例会となった。そしてゲストスピーカーには大

阪土佐堀クラブの岩田晋ワイズをお招きした。会の進行は若林ドライバーが担当、長尾会長による開会点鐘、ワイ



ズソングの斉唱、聖書朗読、開会祈祷、ゲスト・ビジター紹介の後、岩田晋氏による「六十路老学徒の韓国歷程」と題するスピーチへと移った。氏の経歴、韓国語、韓国史学習研究の経緯はブリテンにも詳しく記されているが、中でも今振り返れば、定年退職の翌年、高麗大学に留学、学生街で下宿生活を送り、韓国の人達と日常的に濃密な関係を築いてきた経験は何物にも替え難い財産となっている、と言われる。そして、今も中部大学の研究員をつとめ、年に数回は韓国を訪れ調査、研究を続けておられる。そんな岩田氏は、ご自分の撮られた膨大な数の写真を紹介しながら韓国の歴史、文化、言語、教育事情、両国関係の歴史、庶民の生活、ファッション、食べもの、飲みもの、町の様子等々、硬軟織り交ぜて、大変興味深い話しをして下さった。中でも、我々が驚いたのは、やはり文化の違い。日本では考えられないこととして、特に印象的だったのは、病院が葬儀場も経営している、教会とカラオケボックスが同じビルに入っている、地下鉄には自転車持ち込みOK、学生の下宿は食事と洗濯つき、近くの食堂はトンカツの大きさを競っている...等、そこに住んでみないと分からない様々な面白いお話しに会場は笑いが絶えない。興味が尽きないが、この後の飲み会

の時間も迫ってきたので、「続きは又の機会にー」ということでスピーチは終了。

そして同じ会場でお待ちかねのパーティーに移る。ビール、ワイン飲み放題、バイキング料理も食べ放題。暑さも吹っ飛ば、なごやかなムードへと一変。



(千葉クラブ、小仁恵子ワイズ)

それぞれ好きな飲み物、好きな食べ物、好きな人(?)を求めて、ウロウロと徘徊(?)を繰り返す、あちら、こちらで話しの輪が広がる。スピーカーに話しの続きを聴くグループもあり、又、別のテーブルではオリンピックの日本選手の頑張りに話題が盛りあがるも、我がタイガースの話題は皆無。ノドも潤い、お腹も満たされて楽しい時間は過ぎてゆく。終宴に近づき、他クラブからのアピール、会長報告、その他の報告の後、閉会点鐘をもって会を閉じた。

吉田 明

8月第2例会報告

8月15日(水)18時30分からHappy Houseにて、第二例会を行った。出席者は長尾亘会長、石田、多胡、堀江、山崎、吉田各メンの6名。

- 25周年記念特別例会準備委員会の件
委員会メンバーとして、多胡(長)、長尾亘、山崎、石田、若林、堀江、吉田、福田(素)の8名を選出。8月29日(水)、14時30分よりHappy Houseにおいてキックオフ委員会を行うこととした。
- クラブ規則改正の件
若い会員(40歳未満)の年会費の減額制度、及び病気等で長期欠席を余儀なくされる会員に対して休会制度を設けるため、クラブの「会則・細則」ならびに「取り扱い規定」を改正することを審議し、「改正案」を承認した。又、この二つの改正案は、そ

それぞれの規定に基き、9月例会で会員に承認を求めることとし、欠席者はハガキで書面表決ができるよう取り計らうこととした。

3. 9月第一例会の件

ゲストスピーカーについては、福田素子メネットが候補者を推薦されているので、交渉を依頼する。ドライバーについては順番変更の可能性あり。

4. 9月ブリテンの件

原稿執筆者、印刷、発送等の日程を決定した。

5. 岩国クラブとの交流について

石田交流事業委員長より、西中国部会(9月29日・広島YMCA)に出席し、DBC締結に向けて岩国クラブとの交流の機会を持ちたい、との提案があり。これを受けて、会員に出席を促すこととした。

(報告者 吉田 明)

M(親睦と交流)、そしてE(新クラブ設立)。つまり、クラブの健全な維持・存続と意識高揚の上に交流・親睦・新会員獲得があり、そして新クラブ設立が成り立って行くと言う考え方で。そこでクラブ自己診断プログラムのワークショップが始まりました。定例会のあり方、クラブ運営について、財政面について等々、自分が感じる自分のクラブの姿を浮き立たせる内容です。出た点数をレーダーチャートで見るとクラブの弱い項目の部分がガタッとへこみます。これを基にしてディスカッションを持ち改善へつなげて行くと言う形です。

米村主任は、年に一度 EMC を考える例会を開催してほしい、そこではゲストスピーカーの代わりに全員でクラブ自己診断をして話し合ってもらいたいと、アピールされていました。米村主任の研修は、理論的であり、説得力があって大変好評でした。今年度内にぜひ自己診断例会を持ちましょう！

(石田 由美子)

六甲部 EMC 研修会参加報告

2012年8月14日(火)、神戸YMCA・4F「サイコー亭」で開催されたEMC研修会の報告です。これは神戸クラブ8月例会を拡大例会として六甲部のEMC研修会として



特別に企画されました。宝塚クラブのEMC委員長である福田宏子メンが国際大会出席後、まだ帰国していないため代理で出席しましたが、もっと多くのメンバーが出られたらよかったですと感じました。米村謙一EMC事業主任が熊本から六甲部に初めて来られ、今までとは趣きが少し違うEMC事業の研修となりました。今期の事業主任の方針は「ホップ ステップ ジャンプ」まずはC(クラブの健全な運営)、そして

びわこ部部会に出席しました。

8月25日ホテルニューオウミで開催の第17回びわこ部部会に出席しました。交流事業主任として石田由美子、長尾亘会長、三品ミチ子、小島に、会友として中国YMCA全国協会の施海執行幹事の5名でした。



井之上温代部長は私にとっては20年来の親友でありかねてよりびわこ部初の女性部長なので応援してと言われており、石田事業主任と共に働く事になったので部会には必ず来てくれと督促もありました。また施海幹事は神戸YMCAで日本語を学ぶ娘の為来日中ですが、1988年

YMCA 研修の際、ワイズについても学び、帰国後国際協会には加盟しないが、聯青社(ワイズメンズクラブ)設立や日中親善のため貢献しています。

びわこ部会の出席者は 200 名余りの盛会、一重に井之上部長のお人柄と 22 年に及ぶ「ワイズの輪」による交流の結果であり、この継続を讃えるべきと思います。

まず金森昭憲師の琵琶説教と平家物語「敦盛最後」の琵琶演奏と朗々たる語りに幽玄の世界を感じました。

部会は井之上部長の開会点鐘に続いて祝部滋賀 YMCA 総主事の聖書朗読、祈祷で聖句は詩編 126 編が朗読され、28 年前を想起しました。1984 年 9 月改革解放後の初訪中に於いて、会堂が返還され、石澤生牧師が解放された北京基督教崇文堂教会で私達の為特別礼拝の時を持ち、涙ながらに説教された聖句であります。[涙と共に種を蒔く人は、喜びの歌と共に刈りいれる]如何に困難な状況に至るとも「以馬内利」インマニエル(神、我と共にあり)を合言葉に耐えて来たと話されました。是が私の新中国教会と YMCA 交流の原点であります。話が余談となりましたが、部会は事業報告など無く、YMCA 同盟の 25 年表彰と来賓紹介等で部会は終わりました。

是が楽しく参加する新しいスタイルのワイズ部会になるのでは無いでしょうか。

懇親会は豊富な御馳走が用意されました。最後は江洲音頭で全員席を立て踊りに加わり、琵琶湖周航の歌に続き最後は井之上部長の業績を讃えて手をつなぎ「ワイズの輪」を以て 14 時過ぎ閉会しました。

部会後はメネット会で長浜のうちわ作りの勉強の様で私達は帰宅しました。

以上
小島 規似郎

アジア各国めぐり
エスニックコレクションの紹介

宝塚市にはアジアの発展途上国を支援する NGO グループが数多くあります。会場では支援活動をしているアジア各国の珍しい品々を販売し、その収益を善意活動に役立たせていただきます。タイや中国の民族舞踊など、楽しいイベントもありますので、ぜひご来場くださいませ。あなたの小さい買い物が、アジアのどこかで役立っていると思うと嬉しくなりませんか? 又、同時開催として「アジアの子どもたちの絵画展」もあり、現地の生活ぶりがわかりますよ。是非、あれやこれやとごらんになって、楽しんで下さい。

日時 平成 24 年 10 月 13 日(土)
場所 ソリオ宝塚 1 GF メインプラザ
販売 装飾品、衣料品、刺繍品、紅茶、等
同時開催 「アジアの子どもたちの絵画展」
主催 ソリオ宝塚名店会
運営 (特)宝塚市国際交流協会・宝塚市

ステージイベント(午後 2 時ごろから約 30 分間)

☆ 「アジアの民族舞踊」

- タイ舞踊
- 漢民族舞踊

☆セイロンティの入れ方パフォーマンス(売場で随時)

出品国

- ☆アフガニスタン
- ☆スリランカ
- ☆バングラデシュ
- ☆タイ
- ☆ネパール
- ☆フィリピン
- ☆ベトナム

それぞれの国で作られ、利用されているお国情緒がいっぱいの品々です。

宝塚市国際交流協会 NGO 担当 三品

【今月のみ言葉】

辻 建 牧師

宝塚クラブの発足時、初代会長の大林正治ワイズが選ばれた聖書は「天に宝を積もう」でした。「宝」と「宝塚」とを掛けた言葉でもありましたが、印象的でした。それはマタイ福音書ですが、ここにはルカ福音書をあげました。その違いは、「天に宝(富)を積む」ことの内容を、ルカは「施す」という行為で現していることです。「積む」ことは貯えることですが、それで終わってしまっただけでは保守的で消極的です。それを外に向かって吐き出す。「施す」という行為は積極的です。しかもばらまきではない。ばらまきは相手かまわずですが、施すは相手の目を見つめ、相手の不足を見えています。愛の目が相手を追っています。

誕生月 輪番シリーズ

心に残る身近な出来事

石田由美子

身近ではなくアメリカでの出来事ですが精神的に大変身近に感じた出来事です。それはイチローの「日本人」としての思いがけない行動でした。

先月日本時間の 24 日、マリナーズのイチローが突然ニューヨーク・ヤンキーズへ移籍し、その日、ヤンキーズの選手としてバッターボックスへ入った時、マリナーズファンから大きな声援とスタンディングオベーションが沸き起こりました。その時、彼が取ったリアクションは、深々とお辞儀をし、しばらく頭を下げたままでした。マナー講座では最敬礼は 45 度の角度で腰を折り、頭を下げる、となっていますが、彼の角度はそれ以上だったかも分かりません。それくらい、彼のファンへ対する感謝、お礼、

誠意が思わずこのお辞儀にさせたのでしょう。手を振って応えたり、投げキスをしたり、アメリカ的なやり方はあったでしょうが、彼は最も日本的な礼儀で応えました。その写真を見て、形もきれいだけど、何よりも気持ちが全身に溢れているのが見えて、日本にはこんな「美」があるのだ、と感動しました。

美しいお辞儀、これは日本人として誇るべき洗練されたマナーです。改めて教えてくれたイチローに敬意を表します。(石田 由美子)



1、夏の東日本大震災支援プログラム、無事に終了

去る 7 月 23 日(月)から 26 日(木)までの 3 泊 4 日(内 2 車中泊)、宮城県に向けてボランティアバスを送りました。このボランティアバスには啓明学院高校の生徒 31 名、教員 3 名、神戸 YMCA 学園の幼稚園教諭 5 名、シアトル YMCA の教員生徒 3 名が学園都市の坂本孝司さんの引率で乗り込み、宮城県の石巻市及び山元町を訪ね、山元町ではいちご農園を引き続き支援すると共に、神戸に招いた中学生とも再会をしました。

また、去る 7 月 29 日(日)から 8 月 2 日(木)までの 4 泊 5 日で、福島市の小学生 30 名を招待する三菱商事ダイヤモンドキャンプが余島で開催されました。

2、シアトル YMCA との交流プログラム実施

シアトル YMCA とは 45 年以上に及ぶ交流の歴史があります。今年、シアトルからは 7 月 17 日(金)から 31 日(火)に、中高生 9 名と引率者 2 名が来神し、ホームステイや余島キャンプ、京都、広島訪問など忙しく日本探訪をしました。また、日本語の夏期集中コースにもシアトル YMCA から 11 名の学生と教員が来神し、1 ヶ月の日本語研

修を終えました。その内の3名が宮城県へのボランティアに参加くださいました。

一方、神戸からも7月30日(月)から8月10日(金)で、中高生15名と引率者2名がシアトルを訪問しました。

3、夏期プログラム、順調に進行中!

今年はいまだ台風などによるプログラムの中止もなく、天候に守られながら、余島キャンプも順調に行われ、例年以上に多くのキャンパーを迎えています。

4、今後の予定

- ① 10月21日(日)
三宮 YMCA 国際チャリティーバザー、
西宮 YMCA カーニバル
- ② 10月27日(土)
西神戸 YMCA 幼稚園バザー
- ③ 10月28日(日)
西神戸 YMCA (学園都市)わいわいま
つり
- ④ 10月30日(火)
チャリティーゴルフ
- ⑤ 11月3日(土・祝)
チャリティーラン

谷川 尚(連絡主事)

交流事業便り

☆8月10日 熊本ジェーンズクラブ納涼例会

長尾会長が熊本に行った日が納涼例会で中村勝子ワイズにつれていかれました。メネットの参加も多く楽しい納涼例会でした。



☆8月21日 大阪土佐堀クラブ納涼例会

石田交流事業主任のスピーチを聞く目的で、多胡、小島、長尾が参



加しましたが皆の楽しみは石田交流事業主任が率いる関西学院のフラチームでした。

☆8月25日 びわこ部部会

石田交流事業主任、長尾会長、三品、小島、施(会友)が参加
びわこ部井之上部長と記念写真



☆8月26日 中部部会

中部部会は名古屋駅前、名鉄ニューグランドホテルで開催されました。荒川文門部長の主題は「前へ! 声を掛合い」です。成瀬晃三理事や西日本区役員は連日の部会出席ですがやはり部によって個性は違い、楽しみ方も違っていています。昨日は江州音頭、今日は愛知県立芸術大学在学中の2人の学生さんによるバイオリン演奏・・・第1部式典の後第2部は東海大学教養学部芸術学科音楽課程専任講師の近藤真由先生の講演でした。演題は「音楽が脳機能、自律神経に与える働き～音楽療法の立場から」です。偶然にもまだ37歳、と前日のご住職と同一年のただ今婚活中、と言うチャーミングな先生が、音楽がどのように脳や自律神経に影響を与え、認知症のみならず、ガンやパーキンソン病などの治療に役立てられているか、大変興味深く話されました。よく使われる楽器はトーンチャイムだそうです。毎年キャロルの夕べに出演しているポップンキッズが演奏しているのがこのトーンチャイムです。親しみを感じました。



(交流事業主任 石田由美子)